

平成21年度第1回沖縄県がん診療連携協議会議事要旨

| | | | |
|----------------------|--------------------------|--------|--|
| 日 時 | 平成21年6月3日(水) 14:10~17:14 | | |
| 場 所 | 管理棟3階 大会議室 | | |
| 構 成 員 | 28名 | 出席者26名 | 欠席者 2名 |
| 1号委員(病院長)(議長) | | | 須加原 一博 |
| 2号委員(地域がん診療連携拠点病院長) | | | 諸喜田 林 平安山 英盛 與議 實津夫 |
| 3号委員(沖縄県医師会長) | | | 宮城 信雄 |
| 4号委員(沖縄県薬剤師会長) | | | 神村 武之 (欠席) |
| 5号委員(沖縄県看護協会会長) | | | 奥平 登美子 代理 與儀ともし |
| 6号委員(沖縄県政策参与) | | | 玉城 信光 |
| 7号委員(沖縄県福祉保健部長) | | | 奥村 啓子 代理 宮里 達也 |
| 8号委員(がんセンター長) | | | 増田 昌人 |
| 9号委員(医療福祉支援センター長) | | | 村山 貞之 代理 儀部 郁枝 |
| 10号委員(薬剤部長) | | | 宇野 司 |
| 11号委員(看護部長) | | | 川満 幸子 |
| 12号委員(事務部長) | | | 平良 勉 |
| 13号委員(各拠点病院より2名) | | | 友利 健彦 柴山 順子 玉城 和光 上田 真 久高 学 (欠席) 宮里 浩 |
| 14号委員(患者の立場の方) | | | 上地 政春 |
| 15号委員(患者の家族の立場の方) | | | 山田 良子 |
| 16号委員(患者の遺族の立場の方) | | | 崎山 律子 |
| 17号委員(有識者) | | | 埴岡 健一 山城 紀子 天野 慎介 |
| 18号委員(琉大病院長が必要と認める者) | | | 砂川 元 加藤 誠也 |
| 部会説明者 | 緩和ケア部会長 | | 笹良 剛史 |
| | がん登録部会長 | | 嘉数 保明 |
| | 研修部会長 | | 中森 えり |
| | 相談支援部会長 | | 樋口美智子 |
| 陪 席 者 | 総務課長 | | 濱野 満夫 |
| | 医療支援課長 | | 上原 葉子 |

報告説明事項

1. 議長報告

議長から、前回の協議会で承認された、がん登録事業の地域がん登録標準データベースシステ

ムの導入について、3月19日に県へ要望書を提出したことの報告があった。

なお、沖縄県の補正予算に計上される予定とのことであった。

2. 平成21年度第1回沖縄県がん診療連携協議会幹事会について

増田委員から、5月18日に開催された幹事会について、資料2に基づき説明があり、本協議会報告事項、協議会で諮る審議事項等が話合われたとの説明があった。

3. 沖縄県がん診療連携協議会・部会委員一覧について

議長から、協議会委員の交替について、資料3に基づき、次のとおり報告があった。

- ・ 沖縄県看護協会会長 大嶺千枝子委員 奥平登美子委員
- ・ 沖縄県福祉保健部長 伊波輝美委員 奥村啓子委員
- ・ 北部地区医師会病院外科部長 友利健彦委員 照屋淳委員

また、増田委員から、幹事会の委員の交替が次のとおり報告があった。

- ・ 沖縄県福祉保健部保健衛生統括官 高江洲均委員 宮里達也委員
- ・ 附属病院総務課長 川口幸一委員 濱野満夫委員

なお、各部会委員についても、資料に基づき、患者側委員の就任等の報告があった。

4. 部会報告

(1) 緩和ケア部会

笹良緩和ケア部会長から、資料4-1に基づき今年度事業計画解説および進捗状況等の報告があった。事業項目毎の状況は次のとおりであった。

事業計画

【育成】

1. 3年以内に宮古医療圏内（宮古市）及び八重山医療圏内（石垣市）でそれぞれ1回ずつの研修会を行う。
状況：情報収集等を行う3つのワーキンググループを発足させた。
2. 緩和ケア研修会指導者の育成
各拠点病院において、次年度内に緩和ケア研修会の指導者（国立がんセンター及び日本緩和医療学会が行っている指導者研修会の受講修了者）を精神的緩和部門1人、身体的緩和部門2人、それぞれ配置する。
状況：琉大病院は、精神的緩和部門3人、身体的緩和部門3人を予定
- (2) 国立がんセンターおよび日本緩和医療学会が行っている指導者研修会において、沖縄県より毎回1人以上は必ず参加する。
状況：琉大病院から精神的緩和部門2人、身体的緩和部門2人派遣予定
3. 緩和ケア専門医療従事者を育てる。
状況：未実施

【普及】

1. 年4回緩和ケア研修会の企画、実施を行う。これまで2日間の研修会を土・日続けて行ってきたが、開業医の参加が困難である現状を踏まえ、日・日開催、あるいは日・月（祝日）開催で行う。
状況：北部地区医師会実施日未定
県立中部病院は2010年1月30日（土）・31日（日）に実施予定
那覇市立病院は12月19日（土）・20（日）に実施予定
琉大病院は8月22日（土）・23日（日）に実施予定

2. 緩和ケア病棟または緩和ケア病棟に準じた病棟普及を図る。

状況：緩和ケアの情報提供が普及していない。

3. 2次医療圏（地域）ごとに緩和ケア協議会を設置する。

状況：未実施

【強化】

1. ホスピス病棟を持つ病院・在宅医療との連携を強化する。

状況：ワーキンググループを発足させた。

2. がん診療を行っているすべての病院に緩和ケアチームを作る。

状況：病院にアンケートを実施し、ワーキンググループを発足させた。

3. 拠点病院緩和ケアチームと在宅医療を行う診療所（開業医）との合同カンファランスを定期開催する。

状況：未実施

【広報】

1. 拠点病院、およびそれ以外の病院において緩和ケア外来の普及を行う。

状況：ワーキンググループを発足させた。

(2)地域ネットワーク部会

国吉地域ネットワーク部会長から、資料5-1に基づき今年度事業計画解説および進捗状況等の報告があった。

事業項目毎の状況は次のとおりであった。

事業計画

1. 胃がん地域連携クリティカルパスの作成

1-1胃がんの院内クリティカルパスの作成ないし改訂を行い、確実に運用開始する。

1-2胃がん地域連携クリティカルパス作成のワーキンググループを設置する。

1-3胃がん地域連携クリティカルパス（案）を作成する。

状況：ワーキンググループを設置した。クリティカルパスを8月31日に作成予定

2. 大腸がん地域連携クリティカルパスの作成

1-1大腸がんの院内クリティカルパスの作成ないし改訂を行い、確実に運用開始する。

1-2大腸がん地域連携クリティカルパス作成のワーキンググループを設置する。

1-3大腸がん地域連携クリティカルパス（案）を作成する。

状況：ワーキンググループを設置した。クリティカルパスを8月31日に作成予定

3. 肺がん地域連携クリティカルパスの作成

1-1肺がんの院内クリティカルパスの作成ないし改訂を行い、確実に運用開始する。

1-2肺がん地域連携クリティカルパス作成のワーキンググループを設置する。

1-3肺がん地域連携クリティカルパス（案）を作成する。

状況：ワーキンググループを設置した。クリティカルパスを8月31日に作成予定

4. 肝がん地域連携クリティカルパスの作成

1-1肝がんの院内クリティカルパスの作成ないし改訂を行い、確実に運用開始する。

1-2肝がん地域連携クリティカルパス作成のワーキンググループを設置する。

1-3肝がん地域連携クリティカルパス（案）を作成する。

状況：ワーキンググループを設置した。クリティカルパスを8月31日に作成予定

5. 乳がん地域連携クリティカルパスの作成

1-1乳がんの院内クリティカルパスの作成ないし改訂を行い、確実に運用開始する。

1-2乳がん地域連携クリティカルパス作成のワーキンググループを設置する。

1-3乳がん地域連携クリティカルパス（案）を作成する。

状況：ワーキンググループを設置した。クリティカルパスを8月31日に作成予定

6. 学会および厚生労働省の研究班に積極的に参加し、情報収集を行うとともに、地域連携クリテ

イカルパスについて学会等で報告する。

状況：6月12日の日本医療マネジメント学会学術総会で報告予定

7. がん診療の地域連携に関するバックグラウンドを把握する。
沖縄県下の医療機関を対象に、がんにおける病診連携に関するアンケートを行い、がん診療の地域連携に関するバックグラウンドを調査する。
状況：アンケートを作成した。実施に向け準備中
沖縄県の病院機能調査の結果をもとに、病院別、臓器別の症例数を調査する。病院においては、すでに調査を行ったが、診療所での手術を行っている施設の病院別、臓器別の症例数を調査する。
状況：診療所の調査を行っている。
8. 宮古医療圏、八重山医療圏及び北部医療圏のがん医療の再考
状況：未実施
9. 在宅がん医療の普及
状況：未実施
10. 病理診断ネットワークの構築（離島、本島、拠点病院間）
状況：未実施

(3)普及啓発部会

増田委員から資料に基づき、資料6 - 1に基づき今年度事業計画解説および進捗状況等の報告があった。事業項目毎の状況は次のとおりであった。

事業計画

1. テーマを絞り一般向け講演会を開催する。（子宮頸がんを中心）
状況：5月10日に普及啓発部会主催の講演会を3会場で開催した。
2. 講演会を録画したものを、ライブラリー化し（4病院内のみ）視聴可能にする。
状況：5月10日開催の講演会をデータ保管済
3. 各拠点病院にてがん種毎の担当医一覧を作成し、ホームページに掲載する。
状況：各拠点病院ホームページに掲載済
4. 情報提供の地域格差をなくす
状況：講演会、健康キャンペーン、がん検診等へ参加し、情報提供を行う予定
5. 養護教員向けに子宮がんについて講習会を行う。
状況：沖縄県教育庁保健体育課と調整、協議中。健康キャンペーン、がん検診等へ参加し、情報提供を行う予定
6. 日本対がん協会とタイアップしてリレーフォーライフを行う。
状況：リレーフォーライフにて広報活動を行えるよう準備中
7. がん関連のDVD、および講演会録画データを視聴可能な場所、及び機器を設置する。
状況：各拠点病院にて、視聴ブースが作れるよう働きかける。
8. がん検診キャンペーンを具体化する。
状況：子宮頸がんについて、広報活動を行っている。
9. インターネットが利用できない人の為に、その他の情報提供手段を考える。
状況：未実施
10. 協議会ホームページの内容の充実を図る。
状況：提供する内容を協議する予定
11. 沖縄県生活習慣病検診管理協議会、アクションプラン推進協議会、沖縄禁煙協議会と相互に情報提供および交換を行う。
状況：未実施

(4)がん登録部会

嘉数がん登録部会長から、資料7 - 1に基づき今年度事業計画解説および進捗状況等の報告があった。事業項目毎の状況は次のとおりであった。

事業計画

1. 沖縄県の地域がん登録および拠点病院の院内がん登録の強化を図る。
国立がんセンターの主催する地域および院内がん登録研修会に参加する。
すべての院内がん登録をしている施設において、国立がんセンターの院内がん登録サポートメーリングリストに参加する。
状況：琉大病院から、院内がん登録初級者研修会(6/11-12, 1人)(7/21-23, 1人)に参加予定、他拠点病院は確認中。
2. 登録漏れを防ぐため、登録すべき腫瘍候補の見つけ出しを強化する。
状況：未実施
3. 拠点病院以外への院内がん登録の普及を図る。
状況：昨年度は沖縄第一病院へ初期指導を行い、がん登録への支援を行った。
4. 沖縄県の地域および院内がん登録対象医療機関の見直しを行う。
状況：沖縄県保健医療計画をもとに、地域および院内がん登録対象医療機関の見直しをおこなった。
5. 院内がん登録と地域がん登録とのすり合わせとその活用を行う。
沖縄県に国立がんセンターが推奨する「地域がん標準データベース」を導入する。
拠点病院以外で、「HosCanR」を使用し院内がん登録を行っている9施設において「HosCanR」の「地域がん登録用として印刷用届出票を出力」を利用し、地域がん登録への届け出を行うよう働きかける。また、「HosCanR」以外を利用している施設でも、同様に届け出が出来るようにカスタマイズを行うよう働きかける。
状況：未実施
6. 院内がん登録と地域がん登録の定期開示を行う。
院内がん登録の集計結果を各拠点病院のホームページ等に公開する。
沖縄県と4拠点病院の集計結果を「沖縄県がん診療連携協議会・がん登録部会」のホームページに公開する。
沖縄県の「沖縄県地域がん登録事業報告書」に加えて、拠点病院の集計結果をまとめ、「沖縄県院内がん登録報告書」を作成し、それぞれを医療機関や市町村に配布する。
状況：未実施
7. 院内がん登録研修会を企画開催する(研修部会との共同作業)。
がん種毎に シリーズ化 年に4回を目標に「院内がん登録研修会」を企画開催する。
これから院内がん登録を開始する医療機関向けに初期導入研修会を企画開催する。
状況：企画、開催予定
8. 4拠点病院でがん登録統計の統一様式を作成する。
状況：未実施
9. がん登録部会の活動を学会等で報告する。
状況：がん登録部会では、沖縄県医師会会員は増田委員のみであるので、増田委員から県医師会へ報告することが承認された。
10. 施設の登録患者の生存率を計測する。
状況：未実施

(5)研修部会

中森研修部会長から資料に基づき、資料8 - 1に基づき今年度事業計画について、進捗状況等の報告があった。

事業項目毎の状況は次のとおりであった。

事業計画

1. 医師向けの早期診断のための研修会をシリーズ化し、年4回開催する。
状況：「5大がんを考える」をテーマに年4回定期開催予定
2. 地域ネットワーク部会と連携して、院内および地域クリティカルパス研修会を開催する。
状況：5月23日(土)に「院内および地域クリティカルパス研修会」を予定している。
3. 年4回開催される沖縄県緩和ケア研修会(厚生労働省通知「緩和ケア研修会の開催指針について」に基づく)において看護師、薬剤師の参加を促し、最後の1コマに対象者別コースを設け、それぞれの職種において専門的な地域を習得できるようにするとともに、今後の研修会における指導者、ファシリテーターを育成する。
状況：8月22日～23日開催予定の「沖縄県緩和ケア研修会2009」プログラム後に、看護師、薬剤師に分かれて、研修会を実施予定
4. がん看護研修会を初級・中級・上級者向けに年4回開催する。
状況：未実施
5. 認定薬剤師制度の活用、緩和薬学会での単位取得を視野に入れた薬剤師向けの研修会を企画・実施する。
状況：未実施
6. 協議会主催で協議会メンバーによる総論的な講演会を年4回企画・実施する。
状況：未実施
7. 相談支援部会と連携して、医療ソーシャルワーカー向けの研修会を開催する。
状況：相談支援部会を中心として、4月8日、5月13日にがん相談支援員実務者研修会を実施済み。今後毎月1回開催予定
8. がん登録部会と連携して、診療情報管理士向けの研修会を開催する。
状況：院内がん登録研修会を、第1回8月15日、第2回10月17日、第3回12月19日、第4回2月20日に開催予定
9. 研修会の人材バンク(講演者リスト)を作成する。
状況：未実施
10. 県内病院・施設がそれぞれ主催で行っている研修会(院内も含む)リストを作成する。
状況：未実施

(6)相談支援部会

樋口相談支援部長から資料9-1に基づき今年度事業計画について、進捗状況等の報告があった。事業項目毎の状況は次のとおりであった。

事業計画

1. 沖縄県全体のがん種別セカンドオピニオンリストを作成する。
状況：4拠点病院のホームページで掲載中、他病院へ協力依頼中
2. 各拠点病院間のがん相談支援ネットワークの構築と、診療所も含めた全県的ながん相談支援ネットワークの構築を行う。
状況：未実施
3. インターネットを利用した患者向けがん情報を発信する(協議会ホームページおよび拠点病院ホームページ上で、各種がんの基本情報、サロンや患者会等の紹介、セカンドオピニオンリストなどを公開する)。
沖縄県全体のがん種別セカンドオピニオンリストを掲載する。
状況：進行中
がん相談に関わる実務者に役立つ情報(がん治療の最新情報、書籍、ウェブサイト等)を発信する。
状況：未実施
沖縄県内の患者会リストを作成し、各患者会へ協議会ホームページへの掲載を提案する。
状況：未実施

各拠点病院がん相談実績を公表する。

状況：協議中

患者・家族の要望に応えられるよう意見を募集し、協議会ホームページに掲載する。

状況：協議中

4. 各拠点病院に、がん患者及びその家族が心の悩みや体験等を語り合うための場（サロン）を設置する。
状況：5月に、那覇市立病院でサロンを開設予定
5. 拠点病院におけるがん相談支援員の質の向上と、それ以外の病院におけるがん相談支援センターの設置とそれに対する沖縄県からの支援を求める。
状況：国立がんセンター主催の研修会へ参加予定、また、平成20年度第3回沖縄県がん診療連携協議会で県への支援を提言済。引き続き、支援を求める。
6. 定期的開催される相談員研修会を企画・開催する。
状況：第1回開催（ちゅうざん病院、4月8日）、第2回開催（知花クリニック、5月13日）
7. ピアサポーターの養成と各拠点病院でのピアサポートを実施する。
状況：未実施
8. 各拠点病院におけるがん種別院内患者会の設置、病院の垣根を越えたがん種別患者会連合会の結成の支援、更にはがん種横断的がん患者会の結成の支援とそれぞれに関する沖縄県からの支援を求める。
状況：協議中
9. 拠点病院共通の相談記録様式を使用し、データ解析を行い公表する。
状況：運用及び解析は開始しているが、公表は未実施
10. セカンドオピニオンの普及および啓蒙を兼ねたアンケート調査を各拠点病院およびがん治療を行っている県内の医療機関の医師・患者を対象に実施する。
状況：協議中

5. 沖縄県がん診療連携協議会ホームページについて

増田委員から、資料に基づき、協議会のホームページの説明があった。

6. 日本医療政策機構「がん政策情報センター」について

埴岡委員から、資料10に基づき、日本医療政策機構「がん政策情報センター」の主な活動等について、次のとおり紹介があった。

- (1) がん政策情報センターは、日本のがん医療の均てん化のために、各関係者へ、情報の提供等、支援を行っている。
- (2) 各地域の医療機関や関係者からの好事例を収集し、ネット上で誰でも閲覧できるよう、取り組んでいる。
- (3) がん政策サミット等を開催し、地域関係者の交流の場やワークショップ、研修、講演会等を開催している。沖縄県への今後、ご案内を考えたい。

7. 厚生労働省「がんに関する普及啓発懇談会」について

天野委員から、資料11に基づき、5月22日に開催された「第4回がんに関する普及啓発懇談会」の主な内容について、次のとおり報告があった。

- (1) 公開シンポジウムが、「“BRAVE CIRCLE”大腸がん撲滅キャンペーン」、「乳がん検診率50%以上達成に向けた戦略的施策の概要について」、「酒田市の取組について」、「マーケティング手法を用いたがん検診受診率向上の取組について」の4題があった。
- (2) がん対策予算について、平成21年度1次補正予算（案）では、女性特有のがん検診に

対する支援として、子宮頸がんについて、検診の無料クーポン券の配布、検診手帳の交付が検討されている。

- (3) 小さなメディア等への取組が大切である。
- (4) がん検診受診率の向上について、地区市町村の役割が大きい。
- (5) 韓国では、がん検診の受診率が向上している。
- (6) キャッチフレーズやイメージキャラクターを採用する取組がある。

その他 1 . がん対策推進計画を推進するための都道府県の主な取組（アクションプラン）の作成について

宮里委員から、資料に基づき、3月18日付けで厚生労働省から通知のあった、がん対策推進計画を推進するための都道府県の主な取組（アクションプラン）の作成にあたり、関係各位の協力について依頼があった。

その他 2 . 本協議会開催前に実施された「第1回沖縄県がん患者ゆんたく会」のアンケート結果について

増田委員から、12時から13時45分までに開催された「第1回沖縄県がん患者ゆんたく会」での、アンケート結果の主な事項について、次のとおり報告があった。

- (1) 60名弱ほどの参加者があった。(患者36%、家族47%、友人知人等17%)
- (2) 男性3割、女性7割の参加。60代、50代が多かった。
- (3) 5大がん以外のがんの患者も多かった。
- (4) 担当医からの説明には、8割ぐらいがほぼ満足であった。
- (5) セカンドオピニオンの際の対応については、ほぼ満足であった。
- (6) 43%の人が相談窓口がどこにあるか、わからなかった。
- (7) 60%が病院の対応について、満足であった。
- (8) 相談支援センターについては、知らない人は6~7割であった。
- (9) がん対策については、不満が6割以上であった。

なお、傍聴者から、沖縄県のがんに関する予算が少なすぎるとの意見、がん治療についての意見等があった。

審議事項

1 . フリーディスカッションについて

増田委員から、提案事項について、資料に基づき、説明があり、引き続き、次回以降に審議することになった。

なお、各委員へメールにて、後日、詳しい資料を送付することになった。

- (1) 「うちなーがん基金」について

島根県での例を参考に検討する。

- (2) タウンミーティングについて

がん患者さんによるタウンミーティングを開催したい。目標としては、沖縄県への施策に対する提言を目指したい。